

「何をしてても主が成功させてくださる。」 創世記39章19～23節

聖書の中でヨセフほどミスも罪深さも見つかからない人はおらず、「全きヨセフ」と呼ばれます。それでは、ヨセフは生まれながらに性格が良かったのかというところというわけではありません。

「ヨセフは彼らの悪い噂を彼らの父に告げた。」(37・2)。「兄さんたちの束が周りに来て、私の束を伏し拝んだのです。」(7)など、純粹過ぎて配慮のない甘やかされた子だったので、「父は彼を叱つ」(10)たのです。

先週お話ししたように、そのような世間知らずで純粹なので兄たちに嫌われて殺されかかり、奴隷に売られたのですが、決して、卑屈にならず、誠実に生きたのでした。人は、果たして生まれながらの性格というものがあるのか、もしあったとしたら変わらないのか。

「箴言」とは、「知恵と訓戒を知り、悟りのことばを理解するため、義とさばきと公正において、訓戒を受けて、さとなるため、浅はかな者を賢くし、若い者に知識と思慮を得させるためのもの。知恵のある者は聞いて洞察を深め、分別のある者は導きを得る。」(箴言1・25)とあります。

これに反するのが「愚かな者」です。箴言には43回も愚かな者がどういうものか説明されています。「自分の心に頼る者は愚かな者」(28・26)とあるように、聖書の言葉も他の人の忠告も聞き入れず、自分の考えと思いに固執します。ヨセフは、先週お話ししたように、悲惨な境遇にあっても、そこに不満を持たず、苛立ちを起さず、「主がともにおられる」(39・2)のような心の状態だったのでした。

そんなヨセフに試練と誘惑が起こりました。「体格も良く、顔たちも美しくかった」(6)ヨセフを、主人の妻が誘惑したのです。何度誘惑されても、「どうしてそのような大きな悪事をして、神に対して罪を犯すことができるでしょうか。」(6)と聞き入れません。

愚かな者や、御霊に満たされていない人は、このような時に神を意識しません。「自分の心に頼る」のです。そして、罪を犯すのです。そして、悔い改めないのです。言い訳をするのです。「しやうがなかった。」「相手が悪い。」「誘惑された。」等々。「何を見張るよりも、あなたの心を見守れ。いのちの泉はこれから湧く。」(箴言4・23)。全ての罪は、神の裁きに会います。愚かな者は、この裁きの神に気が付かないのです。そして、自分の心を健全に保ち、御霊に満たされることを求めるといふ大事なことに価値を認めないのです。祝福されるはずがありません。

ポティファルの妻は、誘惑に乗らないヨセフに腹が立ち、ヨセフを訴えます。そして、ヨセフは監獄に入れられます。世の中は誘惑と罪に満ちています。人を陥れようとする人々が無数にいます。正しく善良に歩んでいることは、罪びとや誘惑に負けて生きている人には目障りなのです。何とかして罪を犯させよう、失敗をさせようと目論むのです。人と会った時、話した時、心に平安が失われ、苛立ちを覚えたなら、そのような人との付き合いは止めるべきです。「愚かな者はみな、争いを引き起こす。」(箴言20・3)。誘惑を軽んじてはいけません。

「しかし、主はヨセフとともにおられ、彼に恵みを施し、監獄の長の心にながうようにされた。」(12)。「主が彼とともにおられ、彼が何をしても、主がそれを成功させてくださったからである。」(23)。ヨセフは、次第に靈的に成長し、悪人や不正に動じなくなってきました。無実の刑に処せられても、神の御心の中に「とどまったのです。」「わたしのことばがあなただににとどまっているなら、何でも欲しいものを求めなさい。そうすれば、それはかなえられます。」(ヨハネ15・7)。

クリニクニュースにマイナンバー制度の怖さを書きました。医療情報だけでなく、経済状態、生活状況、運転履歴、職歴、障害や病氣、殆どの情報が網羅され、管理されます。日本国民が皆、政府の監視統制下に陥ります。キャッシュレス時代が到来しました。そのうち、マイナンバーが「右の手あるいは額に刻印」され、「その刻印を持っている者以外は、誰も物を売り買いできないようにした。」(黙示録13・16,17)の現実化です。

銀行預金の換金は制限されてきており、株や債券を持つように仕組まれています。新札発行で、タンス預金は把握されるようになるでしょう。貨幣の価値が100分の一くらいになると政府の財政は回復しますが、国民は破綻し、皆が暮らしに困って政府依存になります。政府は戦争の不安や燃料危機、災害対策を理由に、国民統制を現実化していきます。その準備がマイナンバー制度なのです。

しばらくすると、ヨセフが入った監獄のような社会が現れるでしょう。その中でも、神は生きておられます。そこで成功するとは、神の国に入るといふことでしょう。この嘘のような預言が差し迫ってきました。嘘やおとぎ話と考える人は、それで良いでしょうが、くれぐれも愚かな者にならないように注意してください。

1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

2. 真理と祈りと讃美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讃美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

今週の聖書

【新改訳 2017】

創 39:19 彼の主人は、「あなたの奴隷がこのようなことを私にしました」と告げた妻のことばを聞いて、怒りに燃えた。

39:20 ヨセフの主人は彼を捕らえ、王の囚人が監禁されている監獄に彼を入れた。こうして彼は監獄に置かれた。

39:21 しかし、【主】はヨセフとともにおられ、彼に恵みを施し、監獄の長の心になうようにされた。

39:22 監獄の長は、その監獄にいるすべての囚人をヨセフの手に委ねた。ヨセフは、そこで行われるすべてのことを管理するようになった。

39:23 監獄の長は、ヨセフの手に委ねたことには何も干渉しなかった。それは、【主】が彼とともにおられ、彼が何をして、【主】がそれを成功させてくださったからである。

【NKJV】

Gen 39:19 So it was, when his master heard the words which his wife spoke to him, saying, "Your servant did to me after this manner," that his anger was aroused.

39:20 Then Joseph's master took him and put him into the prison, a place where the king's prisoners were confined. And he was there in the prison.

39:21 But the Lord was with Joseph and showed him mercy, and He gave him favor in the sight of the keeper of the prison.

39:22 And the keeper of the prison committed to Joseph's hand all the prisoners who were in the prison; whatever they did there, it was his doing.

39:23 The keeper of the prison did not look into anything that was under Joseph's authority, because the Lord was with him; and whatever he did, the Lord made it prosper.